



### 大木シラカシ伐倒！頂上見晴らし良好。 地元から激励 感謝！

我が倶楽部には、黄金山について、平成 20 年から楠那町側の山桜の環境整備、山頂地区のソメイヨシノの樹勢回復や景観整備を目的に様々な地域貢献活動をしてきた長い歴史があります。こうした経緯から、今回の例会は、地元の社協、自治会長、議員などから構成される『黄金山！山頂エリア活性化推進協議会』との協働により、倶楽部員 25 名、大学生ボランティア 2 名、地元企業から 1 名、地元住民 18 名、行政関係者（南区役所建設部地域整備課）8 名、計 53 名もの皆さんが集まりました。

いつも通り、早朝から担当 3 班を中心に受付、機材の準備等を終えて 9 時に開会し、理事長か

ら黄金山整備の経緯の説明、南区役所の建設部長さんからご挨拶いただき、来年度以降も継続して関わって欲しい旨のご要望がありました。全員でのラジオ体操後、駐車場西側法面の A 班、北スロープ中腹左の C 班、トイレ東側法面の E 班の 3 グループに分かれて、ミーティングをして作業に入りました。主な作業は、桜などを残しつつ、常緑樹やモミジの伐採、クズの伐根などです。私は、E 班でしたが、かなりの急斜面で藪の中でしたので、午前中は、まず、藪の伐採をして、大きなモミジの伐倒を塚本さんが中心となって行い、午後からの大径木のシラカシ伐倒に向けて、周囲の竹藪の伐採などを無事に終えました。塚本さんは、新品のマイ電動チェーンソーを持参されたのですが、電動の場合、通常よりは、回転振動音が静かだったのが印象に残りました。



見晴らし整備は 50 人を超えた大イベントに！



足場の悪い藪の中でツル切り大奮闘の北田正子さん



ゆったり味わった山頂駐車場で昼食。



黄金山一の大木 シラカシの伐採(東側法面)。

その後

お楽しみのランチタイムは、地元の皆さんが、おいしいホルモンのもつ肉が入った汁ものやカレー、飲み物をふるまって下さいました。いつもは山林での作業なので、イスに座って食べれることは少ないのですが、今回は、何と行政の皆さんを中心にテーブルやイスを大量に山頂に運搬され設営されたので、倶楽部員は担当班ごとに座ってゆっくり会食を楽しむことができました。関係者の皆様に感謝・感謝です。

午後は、いよいよ、直径約 65 センチという大木シラカシの伐倒ということで、万一、急斜面の直下方向に倒木してはいけませんので、チルホールのセットから始まりました。できるだけ高い位置にワイヤーをかける必要がありますが、支障木がある中、何とかセットしたところ、二つのワイヤーのつなぎ目がはずれるアクシデントもあり、2回目のセットが完了したのが、14 時過ぎになってしまいました。場所は、山頂駐車場の仁保方面を見下ろす斜面のすぐ下で、倶楽部員以外の皆さんも伐倒作業をじっくり見渡せる位置でしたので、衆人注目の中で、中心伐倒者の本廣さんはさぞかし緊張されたことと思います。慎重に受け口、追い口を作って無事伐倒。大学生を筆頭に巨木の伐倒シーンを目前で初めて見学された皆さんは、さぞかし感動されたことと思います。この E 班以外のグループは、おおむね予定時間に無事目標どおりの作業を終え、道具の手入れを済ませ、反省会を実施して終了しました。

なお、今回は、地元在住の見勢井顧問を筆頭に鎌田さんなど数名の会員が自主的に何度も現地地下見・調査に行かれ、入念に活動計画を練り、樹木にピンクテープを貼るなどの準備をされました。これは、当日の活動がより安全、かつ、円滑に進められるよう真剣に取り組む姿勢による賜物であり、改めて感謝申し上げます。

後日、倶楽部の有志により 2 日に渡り、大木シラカシは、玉切りし処理を終えました。ありがとうございました。